

1. 件名：放射能濃度決定標準の技術評価に係る原子力エネルギー協議会等との面談

2. 日時：令和4年8月30日（火）13：30～14：00

3. 場所：原子力規制庁8階会議室

4. 出席者：

原子力規制庁 技術基盤グループ技術基盤課	佐々木企画調整官、藤澤技術参与、 篠田係員
核燃料廃棄物研究部門	大塚主任技術研究調査官、古田技術 研究調査官、川崎技術参与

技術支援機関

日本原子力研究開発機構安全研究センター
燃料サイクル安全研究ディビジョン 廃棄物・環境安全研究グループ
武田グループリーダー
島田研究主幹
(テレビ会議システムによる出席)

東京電力ホールディングス株式会社 原子燃料サイクル部 廃棄物対策グループ	グループマネジャー
中部電力株式会社 原子力本部 原子力部 廃止措置グループ	グループ長、他1名
関西電力株式会社 原子燃料サイクル室 サイクル環境グループ	グループマネジャー、他1名
原子エネルギー協議会	部長、他1名 (テレビ会議システムによる出席)

5. 要旨：

○ATENA等より、以下のとおり配付資料に基づいて説明があった。

- ✓ 「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」に規定される最大放射能濃度の算出方法（「点推定法」、「濃度比法」、「濃度分布評価法」及び「換算係数法」）のうち、「点推定法」、「濃度比法」及び「濃度分布評価法」については、解体廃棄物への適用を予定しており、早期の技術評価を希望する。
- ✓ 運転廃棄物への適用を予定している「換算係数法」については、最大放射能濃度の計算例がないため、現在計算を実施している。技術評価の対象に含めることを希望するが、今後の技術評価の対象とならなくても差し支えない。

○規制庁より、技術評価の対象については、今後の日本原子力学会の資料の準備状況

を踏まえ、第4回の検討チーム会合において議論する旨伝えた。

6. 配付資料：

- 資料 「中深度処分対象廃棄物の放射能濃度決定方法の基本手順」のエンドース希望範囲について